担当　小林　亨

【第３次　８時間目／１５時間】

（１）本時のねらい

　亀田郷の稲作にかかる労働時間の変化について，栗ノ木排水機場ができる前とできた後の地図を比較することを通して，労働時間の短縮につながりそうな変化を，地図から見付け出すことができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　亀田郷の米作りにかかる労働時間がわずか20年で急激に減った理由について疑問をもち，学習課題を設定する。  （10分） | Ｔ1　芦沼（亀田郷）で，米作りにかかる作業時間は，どれくらいだったか覚えていますか。  Ｃ1　今の10倍の時間がかかっていました。  Ｃ2　水がたまっているので，機械が使えなかくて，手作業になったり，舟を使って作業をしたりしていたからです。  Ｔ2 そうでしたね。今日は，作業時間の変化が見えるグラフを用意しました。  Ｃ3　どんどん減っている。  Ｃ4　洪水は少なくなったけど，まだ水がたまっているのに，なぜ減ったのかな。  Ｃ5　何か，あったんだと思います。  Ｔ　では今日は，労働時間がこんなにも減った理由を探っていきましょう。  ＜学習課題＞  米作りの労働時間が，今くらいにまで減ったのは，なぜだろうか。 | ◯資料を提示する。  ・乾田化されていない亀田郷の写真  ・佐野藤三郎の顔写真  ・言葉「水と土と泥まみれのたたかい」を提示する。  ◯労働時間の変化を示すグラフ資料を示す。 |
| ２　昭和22年と昭和43年の地図を比較し，変わったところを見付け出す。  （25分） | Ｔ　何が見付かれば，今日の課題が解けそうですか。  Ｃ　前と今とで，変わったことが見付かるとよさそう。  Ｃ　写真とか / 年表も / 地図かな  Ｔ　変わったことが見付かれば分かりそうなのですね。では，このなぞを解くために，２つの地図を用意しました。２つの地図を見比べて，変わったところに丸をつけてみましょう。  Ｃ　栗ノ木排水機場というものがある。/　家が増えている  鳥屋野潟や信濃川の形が変わっている  川のようなものが増えている  田んぼの形がきれいに四角になっている。  　 田んぼの周りに道路が増えている。  Ｔ　変わったところが，たくさん見つかったようですね。では，今日の課題「労働時間が減った」理由につながりそうなものはどれか，小グループで選び出しましょう。  Ｃ　栗ノ木排水機場 /鳥屋野潟や信濃川の形が変わっている  田んぼの形がきれいに四角になっている。  　 田んぼの周りに道路が増えている。 | 〇昭和22年と昭和44年の地図を児童数分用意する。  　（実態に応じて，ペア活動でもよい）  〇各グループにホワイトボード（画用紙等でもよい）とペンを配付する。 |
| ３　労働時間が減った理由について，自分の考えをまとめる。　　（10分） | Ｔ　どれを選びましたか。選んだ理由も発表してください。  Ｃ　排水機場＝水が減る  道路・区画整理＝機械化，作業のしやすさ  Ｔ　今日の勉強で立てられる，予想をまとめましょう。  ＜まとめ＞  排水機場ができる，区画や道路が整備されることが，労働時間が減ったことにつながっているのではないだろうか。 |  |